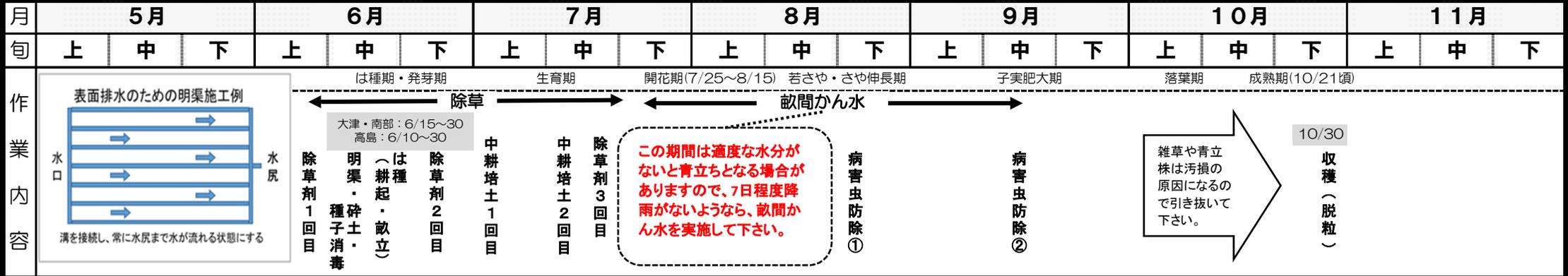


# 令和7年産 大豆『オオツル』栽培こよみ

目標収量 240kg/10a JALレーク滋賀  
 令和7年4月作成

**【最重要】播種時期（大津・南部地域）6月15日～6月30日（高島地域）6月10日～6月30日**

- 土壌の過湿は発芽・生育不良を起こすので排水対策を徹底する。
- ほ場が乾かず、播種が遅れた場合は基肥の増量を検討する。
- 播種前の耕起・砕土は丁寧に実施する。
- 雑草対策を確実に行う。（3回の除草剤散布）



## 土づくり

大豆は有機物と保肥力のある土を好むので堆肥が効果的です。

肥料名	施用量	成分(%)
新ふりかけ堆肥eco	60kg~100kg/10a	N1.9 - P2.1 - K1.0 他
土壌pHは6.0~6.5が適正なので酸度矯正を実施して下さい。		
肥料名	施用量	成分(%)
粒状苦土石灰	100kg/10a	アルカ 53 - 可溶性苦土 15

## 基肥

基肥は初期生育を確保するため、窒素成分で2kg程度施用して下さい。

肥料名	施用量	成分(%)
化成肥料488	10kg~15kg/10a	N14.0 - P8.0 - K8.0

## 種子消毒

薬剤塗沫による種子消毒で紫斑病や苗立枯病の対策を行って下さい。

農薬名	希釈倍数	使用時期	適用病害虫
クルーザーMAXX	乾燥種子1kg 当り8ml	は種前	苗立枯病、紫斑病、茎疫病、アブラムシ類、ネキリムシ類、タネバエ 他

## は種

は種は、ほ場が乾いてから行って下さい。

は種時期	は種密度	は種直後
6/15~6/30(6/20基準)	基本は、条間65~75cm×株間20cmの2粒播きです。	除草剤を散布します。
は種量 4~6kg/10a		
は種深度 3~4cm (乾いた状態で浅く)		

**中耕・培土（2回）** 開花1週間前までには作業を終了して下さい。

中耕は除草効果を、培土は通気性向上、倒伏防止のために行なって下さい。

1回目	2回目
本葉2葉期頃 (播種後20日頃)	本葉4葉期頃 (播種後30日頃)

## 雑草防除

防除区分	薬剤名	使用方法	使用量(10a)
1回目 耕起前または播種前まで	ラウンドアップマックスロード (一年生雑草)	雑草茎葉散布	200~500ml / 水50~100L
2回目 播種後出芽前	エコトップP乳剤 (一年生雑草) エコトップP細粒剤 (一年生雑草)	全面土壌散布	400~600ml / 水100L 4~6kg
3回目 大豆2葉期~開花前	大豆バサグラン液剤 (一年生雑草イネ科除く) アタックショット乳剤 (一年生広葉雑草)	雑草茎葉散布または全面散布 (収穫45日前まで)	100~150ml / 水100L 30~50ml / 水100L
雑草生育期 イネ科雑草3~10葉期	ポルトフロアブル (一年生イネ科雑草)	雑草茎葉散布または全面散布 (収穫30日前まで)	200~300ml / 水100L 少量散布可

## ※雑草に応じた剤を使用してください

草種によって除草剤の効果が異なりますので、雑草の発生状況に応じた除草剤を選定してください。

薬剤名	有効な雑草
大豆バサグラン液剤	アメリカセンダングサ、タデ類
アタックショット乳剤	ホソアオゲイトウ、ホオズキ類
ポルトフロアブル	一年生イネ科雑草

● 薬剤選定にあたっては、そのほ場の過去の雑草発生状況も考慮して選定してください。

● 一部の剤では大豆に薬害が生じますので注意してください。

## 病害虫防除（防除の際は下記の農業から選んで使用して下さい。）

### 必須防除

防除区分	薬剤名	適用病害虫名	使用方法	希釈倍率	使用時期
1回目 若莢期	ファンタジスタフロアブル	紫斑病等	散布	1,000~2,000倍	収穫7日前まで
			無人航空機散布	16倍	
2回目 子実肥大期	スタークル液剤0	カメムシ類 ダイズサヤマバエ フタスジヒメハムシ等	散布	1,000倍	収穫7日前まで
			無人航空機散布	8倍	
3回目 成熟期	プロフレアSC	ハスモンヨトウ フタスジヒメハムシ等	散布	2,000~4,000倍	収穫前日まで
			無人航空機散布	16~32倍	

※病害虫の発生状況に応じて薬剤の変更が必要です。

### 追加防除

防除区分	薬剤名	適用病害虫	使用方法	希釈倍率	使用時期
ハスモンヨトウ (多発時)	フレオフロアブル	ハスモンヨトウ	散布	1,000~2,000倍	収穫7日前まで
			無人航空機散布	8倍	
カメムシ類 (多発時)	キラップフロアブル	カメムシ類	散布	2,000倍	収穫7日前まで
			無人航空機散布	16倍	

● 記載の農業につきましては、令和7年3月時点での登録内容です。

● 農薬の使用にあたっては、必ず容器ラベルを確認して下さい。

● 無登録・使用禁止農薬の使用、及び適用外使用は法律違反となります。

品質向上と増収のポイント